



あ ら や

衆 報

No.109 平成19年 8 月 1 日

発行・新屋振興会 会長高橋昌一
編集・新屋振興会広報部
印刷・株式会社JAプリントあきた

- 2 新屋振興会定期総会
- 3 各種行事
- 4 5 鹿嶋まつり
- 6 7 新屋表町通り景観まちづくり
- 8 11 残そう「秋田市新屋郷土史」
街並みと共に
世界一周の船旅（第2話）

野鳥のさえずる森づくり



西部工業団地公園と緩衝緑地に植樹

紙面を借りてお願い申し上げます。

平成十三年春秋秋田公立美術工芸短期大学の学長に就任され、今年三月末に退任されました石川好氏は、六年間にわたり、学校経営にすばらしい手腕を発揮され、秋田の美短を全国に発信されましたことは勿論のこと、新屋の街づくりにリードオフマンとして常に住民と密着しコミュニケーションを保ち続け、大学の門戸を開放し、数多くの公開講座を開設し地域住民の教養のレベルアップに大いに寄与されました。ここに町民を代表して、心から感謝と敬意を表しお礼を申し上げます。学長を退任されましたが、秋田県・秋田市との関係を保つことになりましたので、今後ともご指導をたまりますよう紙面を借りてお願い申し上げます。

また、西部市民サービスセンター（仮称）も年末着工のメドとなりました。

生活環境も着実に整備されつつありますが残念なことに、長い年月、日本海からの強風をさへぎる役目を果たした砂防林、街並の景観としての松並木が、急激に枯れ、意取組んでおります。さて、日本の現状をみると政治・経済・教育・医療・福祉・治安など、いづれをとっても、わが国の将来はどうなるのかなど、不安にかられておりますが、このような中でも私たちは、"あ ら や"を良くするための可能性に挑戦しなければなりません。「まちづくり」のために前進しようではありませんか。

平成十三年春秋秋田公立美術工芸短期大学の学長に就任され、今年三月末に退任されました石川好氏は、六年間にわたり、学校経営にすばらしい手腕を発揮され、秋田の美短を全国に発信されましたことは勿論のこと、新屋の街づくりにリードオフマンとして常に住民と密着しコミュニケーションを保ち続け、大学の門戸を開放し、数多くの公開講座を開設し地域住民の教養のレベルアップに大いに寄与されました。ここに町民を代表して、心から感謝と敬意を表しお礼を申し上げます。学長を退任されましたが、秋田県・秋田市との関係を保つことになりましたので、今後ともご指導をたまりますよう紙面を借りてお願い申し上げます。



新屋振興会会長
高橋 昌一

可能性に挑戦を(まちづくりのために)

平成十九年度新屋振興会 定期総会開催

平成十九年度の定期総会が、去る四月十一日（水）午後六時三十分より秋田市新屋支所二階会議室において、町内会長・評議員・役員を含め四十三名の出席の元に開催されました。

冒頭、高橋新屋振興会会長より挨拶があり、議事に入りました。

議長に齊藤重孝中表町町内会長を選出し、十八年度の事業実施報告及び、一般会計・特別資金会計・新年会会計収支決算について事務局より報告があり、質疑にはいりませんが、特に意見等もなく承認されました。続いて十九年度の事業計画・一般会計・特別資金会計収支予算（案）が提案されました。その他についても特に意見等がなく、満場一致で十九年度の原案は承認されました。



平成十九年度各部事業計画

事務局
・平成十八年度会計監査

四月六日

平成十九年度総会

四月十一日

三役・部長会議（年四回）

五、七、九、十一月

理事会（年二回）

六月、二月

町内会長・理事連絡協議会（年三回）

六、八、三月

総務部

・ゴミゼロフォーラムの開催

十月下旬

新屋町新年会の開催

一月十二日

企画開発部

・国、県、市への要望事項提出依頼

七月

・要望事項を関係機関に提出

八月

・清水の里、街並みづくりプロジェクトチームの結成

・松食い虫防止対策について

安全対策部

・第七回新屋地区自主防災協議会総会

九月一日

・第七回新屋地区自主防災講演会

九月一日

・第七回新屋地区自主防災訓練の実施

十一月四日（第一日曜日）

・平成十九年度除排雪問題懇談会

十一月下旬

・住宅用火災警報器の設置促進

通年

広報部

・あらや衆報一〇九号の発行

七月

・あらや衆報一一〇号の発行

十二月

新屋振興会の会計

平成19年度新屋振興会収支予算

収入総額 1,922,000円 支出総額 1,922,000円 差引総額 0円
(収入内訳) (単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増△減	備考
1 会費	929,000	921,400	7,600	
2 繰越金	392,303	598,836	△ 206,533	
3 繰入金	200,000	0	200,000	
4 協賛金	400,000	400,000	0	あらや衆報広告料収入
5 寄付金	400	1,756	△ 1,356	
6 雑収入	297	8	289	預金利息
合計	1,922,000	1,922,000	0	

(支出内訳)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増△減	備考
1 会議費	260,000	260,000	0	
総会	140,000	140,000	0	
理事会	120,000	120,000	0	理事会、三役部長会、町内会長理事連絡協議会
2 事務費	140,000	140,000	0	
消耗品	70,000	70,000	0	事務用品、印刷、コピー代
通信費	70,000	70,000	0	切手、ハガキ等
3 部会活動費	80,000	80,000	0	各部活動経費
4 陳情費	50,000	50,000	0	陳情等経費
5 広報費	870,000	870,000	0	
印刷費	650,000	640,000	10,000	あらや衆報印刷代
編集諸費	150,000	160,000	△ 10,000	
謝礼	70,000	70,000	0	原稿謝礼、衆報配布お礼
6 安全対策費	40,000	40,000	0	自主防災組織関連経費
7 環境対策費	20,000	20,000	0	ゴミゼロフォーラム等環境対策経費
8 罹災見舞金	1,000	1,000	0	
9 負担金	110,000	110,000	0	観桜会、新屋体協、スクールコンサート、西部振興会
10 補助金	20,000	20,000	0	町内会長研修会
11 繰出金	40,000	40,000	0	新年会会計への繰出金
12 諸支出金	160,000	160,000	0	
渉外費	100,000	100,000	0	
雑費	60,000	60,000	0	
13 予備費	131,000	131,000	0	
合計	1,922,000	1,922,000	0	

平成18年度新屋振興会収支決算

収入総額 1,975,958円 支出総額 1,583,655円 差引総額 392,303円
(収入内訳) (単位:円)

項目	本年度予算額	収入済額	比較増△減	備考
1 会費	921,400	919,300	△ 2,100	
2 繰越金	598,836	598,836	0	
3 繰入金	0	0	0	
4 協賛金	400,000	432,000	32,000	あらや衆報広告料収入
5 寄付金	1,756	25,390	23,634	高橋昌一受章祝賀会、石川好送別会功
6 雑収入	8	432	424	預金利息
合計	1,922,000	1,975,958	53,958	

(支出内訳)

項目	本年度予算額	支出済額	比較増△減	備考
1 会議費	260,000	255,717	△ 4,283	
総会	140,000	126,087	△ 13,913	
理事会	120,000	129,630	9,630	理事会、三役部長会、町内会長理事連絡協議会
2 事務費	140,000	117,869	△ 22,131	
消耗品	70,000	50,079	△ 19,921	事務用品、印刷コピー代
通信費	70,000	67,790	△ 2,210	切手、ハガキ代等
3 部会活動費	80,000	29,813	△ 50,187	各部活動経費
4 陳情費	50,000	34,500	△ 15,500	陳情等経費
5 広報費	870,000	739,928	△ 130,072	
印刷費	640,000	646,380	6,380	あらや衆報印刷代
編集諸費	160,000	33,548	△ 126,452	
謝礼	70,000	60,000	△ 10,000	原稿謝礼、衆報配布お礼
6 安全対策費	40,000	21,010	△ 18,990	自主防災組織関連経費等
7 環境対策費	20,000	12,720	△ 7,280	ゴミゼロフォーラム
8 罹災見舞金	1,000	0	△ 1,000	
9 負担金	110,000	107,000	△ 3,000	さくら公園観桜会、新屋体協、スクールコンサート等
10 補助金	20,000	20,000	0	町内会長研修会
11 繰出金	40,000	14,507	△ 25,493	新年会会計への繰出
12 諸支出金	160,000	140,415	△ 19,585	
渉外費	100,000	68,000	△ 32,000	
雑費	60,000	72,415	12,415	
13 予備費	131,000	90,176	△ 40,824	通学路舗装費、美短4年制大学期成同盟会寄付等
合計	1,922,000	1,583,655	△ 338,345	

買い物は新屋地区の商店から

各種行事

第五回新屋地区 スクールコンサート

開催の御礼

新屋地区スクール
コンサート実行委員会 大塚 清
支部 部長

緑が一段と濃くなり、日中も真夏並みの気温となる季節となりました。皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、先日六月三日（日）第五回新屋地区スクールコンサート開催に際しましては、大変厳しい時間帯のところ、多数の町民の方々のご参加をいただきまして、会員一同心より感謝致しております。

第五回目を迎えたこのコンサートは、地域の活性化と交通安全の啓蒙、及び青少年の健全なる育成を趣旨としたイベントです。来賓を含め約九百人の多くの聴衆に感動を与え無事終了致しました。これもひとえに住民の明るく住みよい街づくりの一環とした、心の団結の表



れと心より喜んでおるところです。特に今回は日新小学校・秋田西中学校・新屋高校の各吹奏楽部の生徒さんと、日新小学校の「日新太鼓クラブ」新一年生による「ミニ警察官」の交通安全標語の紹介並びに、秋田県警察音楽隊の賛助出演等で、アンコールの連呼が会場を盛り上げました。

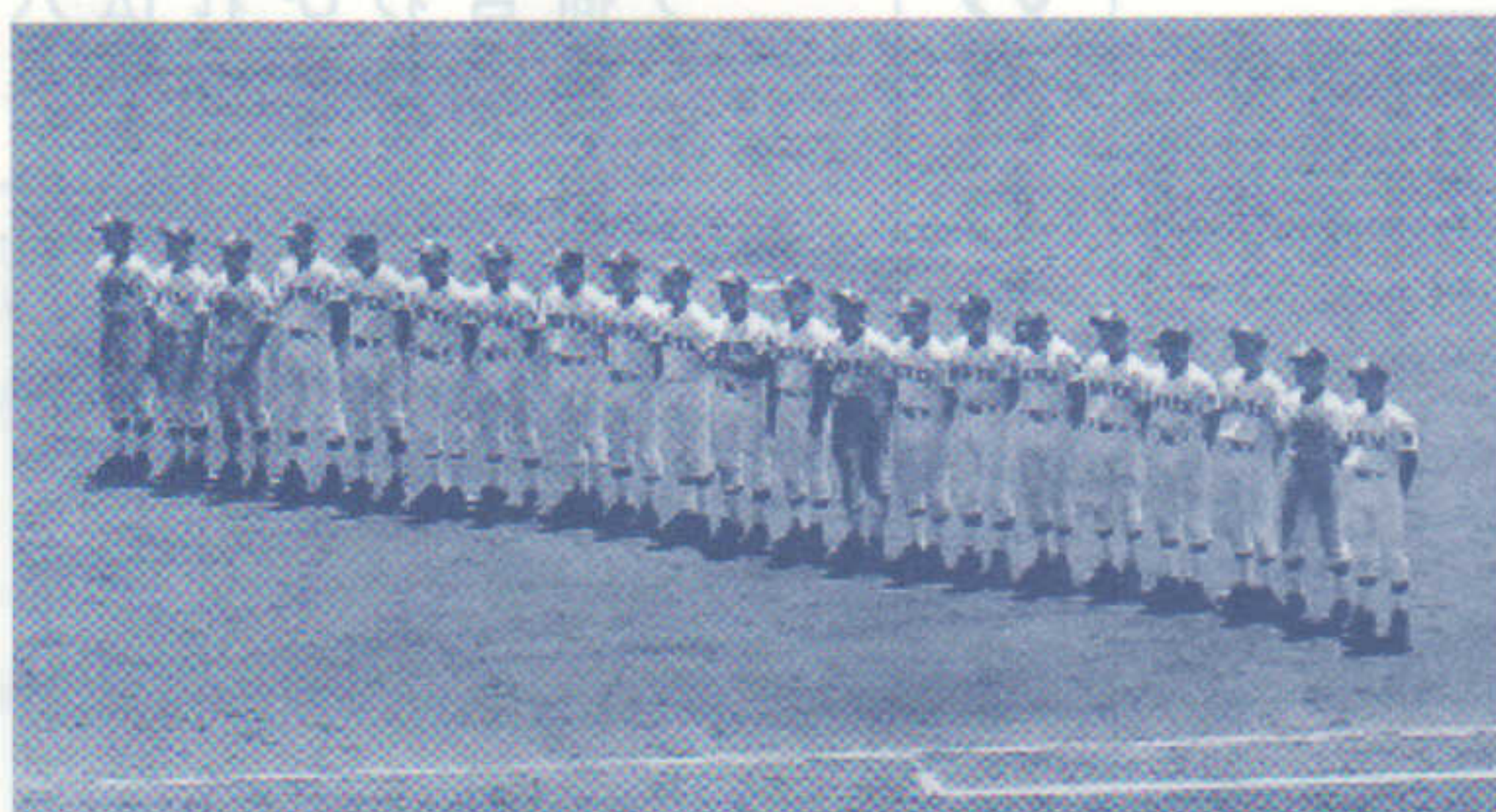
これを機会として、今後も益々発展するよう努力して行きたいと思っておりますので、よろしくご協力承りますようお願い申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。

☆平成十九年度の交通安全祈願祭を、八月一日（水）午前六時より日吉神社にて、開催しますのでご多忙中と存じますが、町民の皆様是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。

笑顔と応援の力！

秋田西中学校野球部 主将 安藤 正純

僕たち、秋田西中学校野球部は、昨年、一昨年に続き、市中学校総合体育大会において三連覇を達成することができました。今年の大会では、一戦目、二戦目はとても苦しい試合になりました。二試合とも相手に先制点を許してしまっただけです。でも、西中のベンチは誰一人肩を落としている人はいませんでした。選手全員、大きな声で互いに応援し合い、そしてミスしてしまった選手には、「大丈夫、笑顔、笑顔。」と、みんなで声を掛け合っていました。そして試合終了、結果は二試合とも逆転サヨナラ勝ち。みんなはこうなる



のがわかっていったかのように笑顔でベンチを飛び出しました。そして翌日、決勝も見事勝利することができました。

僕たちの目標は全国大会に出場することです。全国大会に出場するには、七月二十五日から行われる全県大会で優勝しなければなりません。僕たちはより一層持ち味の元氣、そして笑顔が大切だということをお忘れず、精一杯プレーしたいと思っています。

後から考えると僕たちが市中総体で優勝できたのは、たくさんの方の応援があったからだとかかりました。声がかかるまで応援し、自分の事のように喜んでくれた生徒のみなさん、普段の練習や試合のときにいつも細やかな配慮をしてくださった親の方々、そして地域の方々、皆さんの声援のおかげで優勝することができました。後日行われる全県大会も、皆さんの声援に応えられるように日々練習

を重ね、全力を尽くしたいと思っています。これからも応援よろしくをお願いします。

平成十九年度 秋田公立美術工芸短期大学 四年制大学昇格 西部地区期成同盟会の 総会終る

新屋振興会事務局長 横山 秀男

秋田公立美術工芸短期大学も、開学から既に十年を経過し、全国的な短期大学の四大化傾向を背景に「少子化」「高齢化」など現在社会の変化に対応した人材育成が求められてきております。そこで地元西部地区としては四年制大学の昇格に向け昨年八月に期成同盟会を設立いたしました。

初年度の昨年は、皆様のご協力を得て署名運動を実施、シンポジウムの開催など地域住民が一丸となって活動を展開したところですが、署名運動では、非常に短い期間で一万余人のご署名をいただき、秋田市長と秋田市議会に要望・陳情を行いました。

平成十九年度の総会は、去る四月二十七日に開かれ、四年制大学の早期実現に向けた更なる活動として、①関係機関への働きかけ、②関係諸団体との連携強化を進めてゆくことを誓い合いました。



子供見守り隊 活動便り

第六班 S・S

昨年七月に、日新小学校安全対策懇談会が中心となって発足した、下校時の子供を危険から守る、「新屋地区子供見守り隊」は一年を経過しました。

現在では、約二百名の隊員の方が十箇所の地点を中心に下校時の子供達が安全に帰宅できるよう見守っております。寒い日・暑い日・雨の日等にも負けず、時には自分の孫のような子供達の姿に励まされ、頑張っております。

緑の腕章に緑の帽子の格好良い姿で、子供達を待っているところ、中には「ご苦労さん」と元氣よく挨拶する子供、下を向いて挨拶もない子供にはこちらから言葉をかけて元気づけてやります。

最近では、子供の誘拐とか、不審者の横行等の情報はあまりありませんが、各地域でのボランティア活動の成果であると確信し、今後も無理なく自分出来る範囲内でがんばっていききたいと思っております。





鹿嶋まつり



— 子供を大切にする新屋の伝統行事 —



由来
茨城県にある鹿嶋神宮は古くより武運加護の社として信仰され、関東、東北地方に広がっていました。殊に、秋田藩主として水戸から移封された佐竹氏の入部以降、鹿嶋信仰が秋田県内に強まったといわれます。

由来

鹿嶋まつり 昔の習わし

今年も六月の第二日曜日、六月一日、初夏を思わせる日差しを受けて、四〇〇年の伝統を誇ると言われる「新屋の鹿嶋さん」が賑やかに行われ、二〇艘の鹿嶋舟が町内を練り歩き、鹿嶋太鼓が鳴りひびきました。

新屋の一大観光行事とも言われるこの鹿嶋さんですが、最近では「子供が参加したいと言っているが、どうすればいいの？」とか、「鹿嶋人形は何処で用意するのか」といった問い合わせも少なくないそうです。

今号では、「鹿嶋まつり」について解説してみましよう。

と「鹿嶋信仰」が結びついたものと思われまます。

六月五日

鹿嶋まつりは、旧暦の端午の節句の行事として、六月五日に行われていたことから考えても、他の地域の鹿嶋の行事の期日と異なり、端午の節句の意味合いがより強いと言われます。

宵節句

昔の宵節句には、家の軒先に菖蒲や蓮を魔除けとしてつるし、菖蒲湯に入り、床の間に飾った鹿嶋人形や神棚お仏壇にも、菖蒲酒、蓮酒などをお供えして息災を願ったそうです。

露踏み

鹿嶋の当日（六月五日）が明けると、子ども達は早起きをして草原の草についた朝露を踏む「露踏み」と呼ばれる行事をさせられたそうです。

健康な体を作るための鍛錬として行っていたと言うことです。

伝統的な町内会行事

鹿嶋人形に日頃の罪障を託し、家内、域内の厄災を追いはらうのが鹿嶋祭り。わけても子供は、社会の将来を担う地域の宝。町内の子供の成長を町内が見守る。遊山と並んで、大人はできるだけ手出し、口出しをしないで、子ども達同士の相談でものを進めていこうという、新屋の町の気風を示す代表的な行事です。

鹿嶋まつりは町内会が軸になって行います。

一週間は前から町内会の役員の人達が、夕刻から夜にかけて、鹿嶋舟を製作します。

何事によらず相談に行ってください。

最近の鹿嶋祭り — 祭りの構成 —

宵節句祭（前日午後五時）

鹿嶋祭りは、古くは前日の夕刻から始まっていた。

現在は神社で、この一年間に産まれた赤ちゃんをお祝いする行事として行われています。

参加希望の方は各町内まで。

鹿嶋流し（当日）

家の中に飾ってあった「鹿嶋人形」に子ども達、また家中の人達の息を吹きかけ、人形に「笹巻き」を背負わせ、自分の町内の鹿嶋舟へ届けます。

出発時間に合わせて集まり、世話役の人の指示に従って鹿嶋舟を引っ張ります。



神社でお祓い
鹿嶋舟は、町内を回って日吉神社でお祓いをして貰った後、唄にもあるように「寺のかげまで送りましょ」と一切の罪障と共に、雄物川に流してしまいう行事でした。しかし今は、河川や海洋の汚染に繋がるのではないかと、自粛する町内が多いようです。



鹿嶋まつり問答

問 鹿嶋まつりに参加するには？

答 鹿嶋まつりの朝、町内会館など鹿嶋舟のいる場所に鹿嶋人形を持って行って、出発時間などを確認してください。

問 鹿嶋人形はどうやって手に入れるのですか？

答 町内会で作り方講習会をおこなっている所もあります。町内で鹿嶋舟を作っている場所に、行って聞いてみるのが一番です。

問 人形の作り方を教えてくれる人は居ますか？

答 これも町内で知っているはずですから聞いてみてください。簡単に自分でこしらえるには、まず「頭」を紙粘土でつくって顔を描き、「ペニヤ板」を底にして二センチ角くらいの角材を立ててその上に着け、針金で手足をつけ、紙で服を着せると出来上がります。西部公民館に見本があります。また、地域のお店で「頭」だけ売ってくれます（因みに今年は四二〇円）

問 鹿嶋太鼓を教えて欲しい

答 鹿嶋太鼓を教く役は、町内の子供会の世話役の人が取りまとめていることが多い

ので、町内子供会か、町内会に問い合わせてください。

問 鹿嶋まつりはいつから始まったのですか？

答 起源ははっきり分かりませんが、佐竹の殿様が秋田に移ってこられた、江戸時代の初め頃から続いているといわれています。

問 何のための行事なのですか？

答 もともとは男の子の無事成長を祈る端午の節句の行事と、結びついたといわれる子供のおまつり。侍の人形を作るのは、鹿島神宮（茨城県）の信仰に因んだと思われる。

問 笹巻きは何のためのものですか？

答 子ども達や家の中の罪障を背負って、川や海に流されていく鹿嶋人形に、その旅の間の糧として背負わせてやる習わしになっています。

問 鹿嶋舟のお祓いの順序はどうやって決まるのでしょうか？

答 鹿嶋まつりは各町内会持ち回りで当番を務めています。当番町の音頭取りで打合わせの会を開き、順序を決めます。

鹿嶋舟の作り方

船先には、昔は黒いモクというものを垂らしたそうです。

舟の中央部にはお堂を乗せ、「鹿嶋丸」や町内名を書いた帆を立て、五色の吹き

流し旗を竹につけて舟べりに差し立てます。

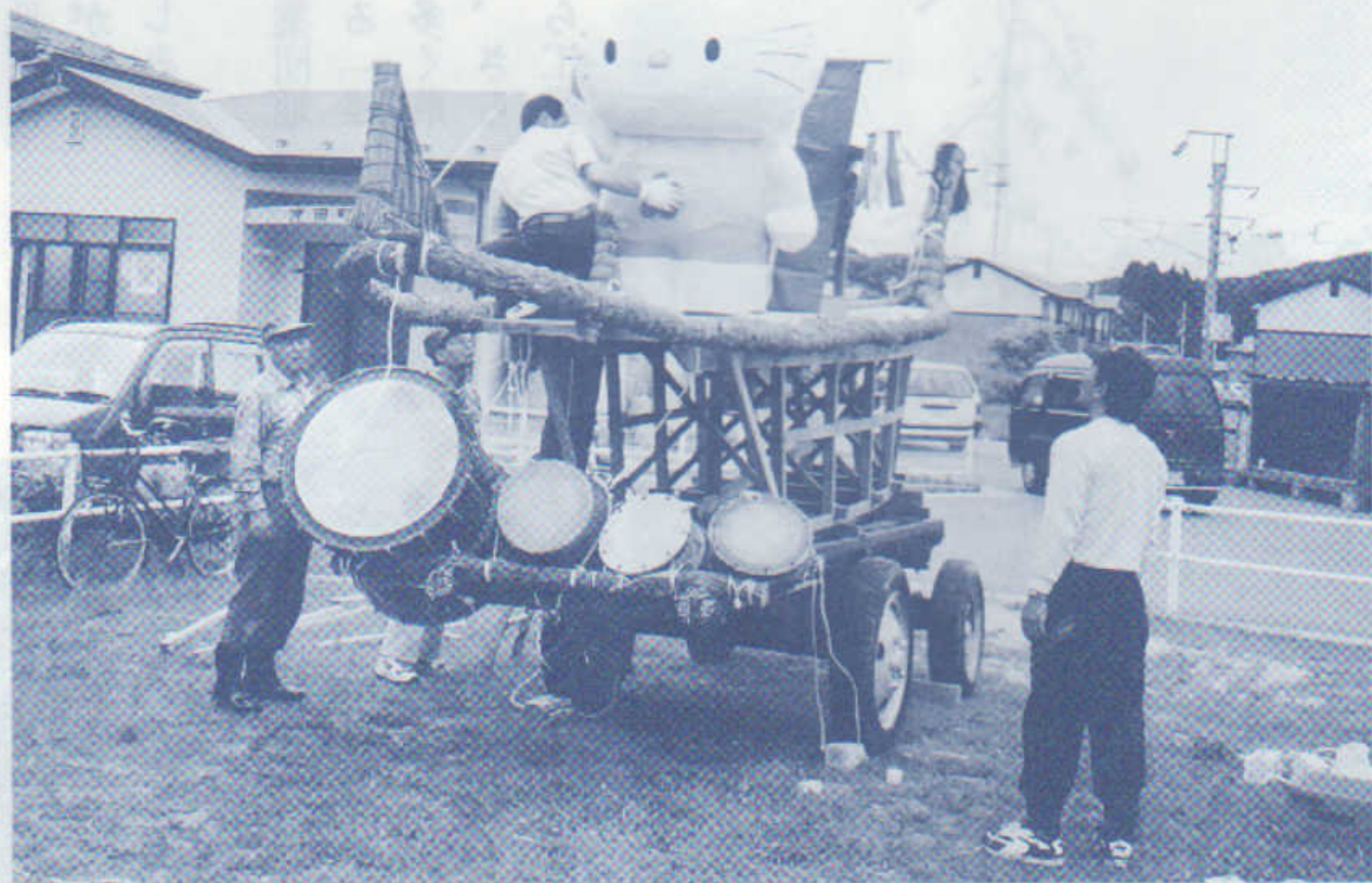
後方には見返り人形を飾ります。

昔は悪霊退散の意味で武者人形を飾ったそうですが、近年は社会風刺の人形や、人気漫画の主人公の人形などが多く飾られて

いるようです。



鹿嶋舟は、だいたい荷馬車に乗せる大きさで、車体の上にとるきで舟形を作り、舟べりと船先をガツギという水辺の植物でくるんで作ります。



笹巻きの作り方と食べ方

- ① もち米を研いでザルに上げます。
- ② 笹の葉（当年生の葉）を水洗いします。
- ③ 2枚の笹の葉を重ねて作った円錐型の中にもち米を詰め、トシメで縛ります。
- ④ それを一晩水に漬けます。
- ⑤ ナベで40分から60分くらい茹でてから、竿状のものにつるして保存します。食べるときは、きな粉をまぶして食べます。固くなったら、もう一度茹でなおしすればおいしく食べられます。



新屋表町通り 景観まちづくり

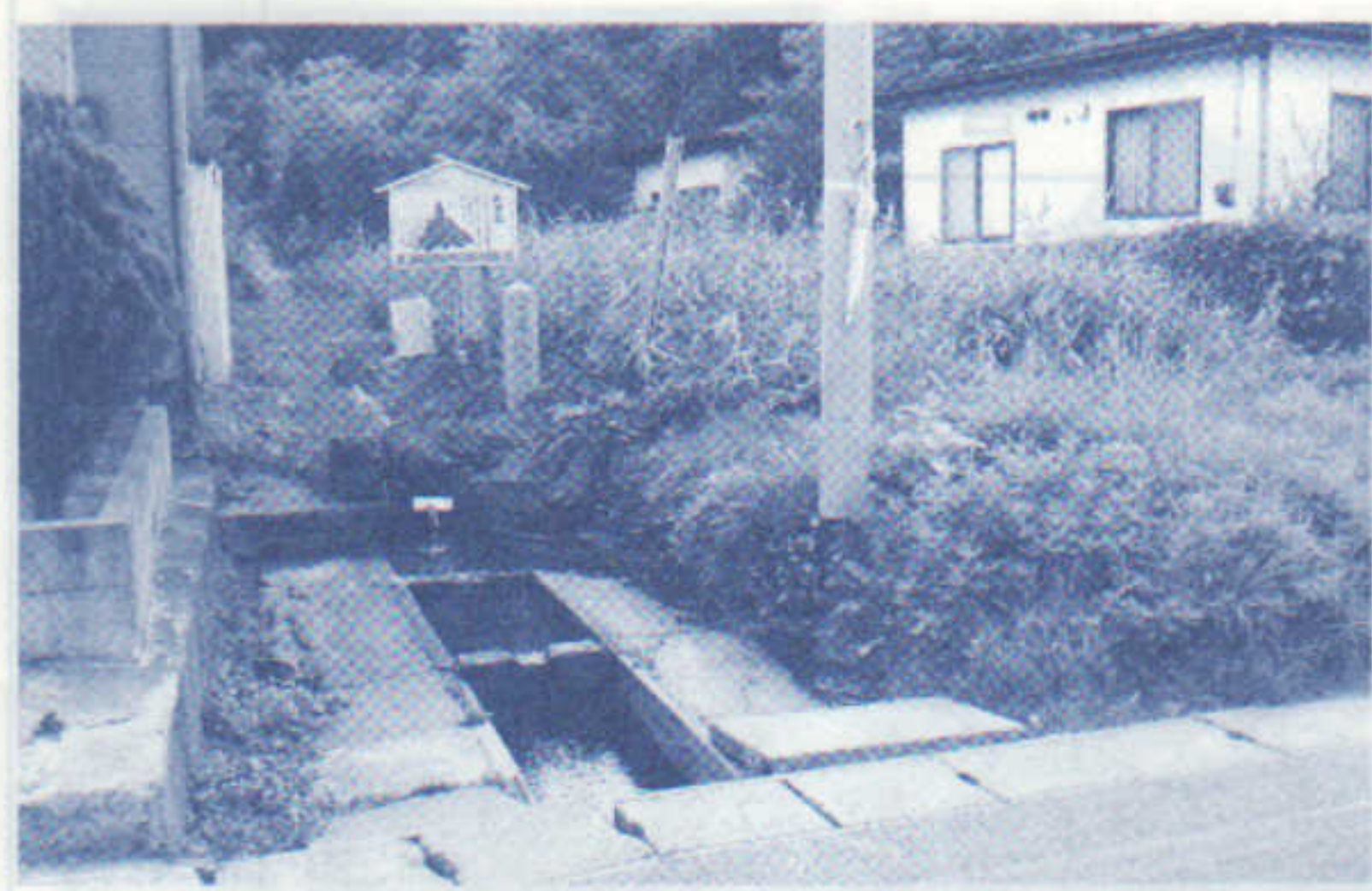
「新屋表町通り活性化推進事業」の成功を願って

中津川 正次郎

六月二十八日、新屋表町通り活性化推進委員会が発足しました。地域団体、商店会等の代表と個人二十余名を構成員に①湧水公園広場の基本設計・活用の検討②表町通りのにぎわいづくりの検討等を課題にした団体です。十月を目途に「まちづくり」の活動を進めることとなります。

この会の活動は、秋田公立美術工芸短期大学産業デザイン学科の石垣充先生と学生達の、表町住民の意識調査をさががけにはじまった、昨年の「新屋表町通りまちなみ景観ワークショップ」を引継ぐものだとは考えています。

しかし、「ワークショップ」は石垣先生の指導による町民有志の集団による「夢」づくり作業でしたが、「活性化推進委員会」は、正式のメンバーと確たる目的をもった活動体である故に、これまでの活動を超えた意義を持つものだと思います、喜んでいるところです。さきの「ワークショップ」は、



「(仮称) 新屋湧き水広場」予定地

私達に改めて自らの住む町を意識して見たり考えたりする機会になりました。メンバーがそれぞれに気に入った町中の風景を撮影したり、町のイメージの中から夢を紡いで物語を作る共同作業は楽しいものでしたが、さびれて行く表町通りの現実の中で、ともすれば暗い気持ちにならざるを得ない場面もありました。それでも「老若男女で賑わう楽しい表町通り」を作るために①車輛の一方通行により歩行者空間を確保し道路沿いにベンチを設置する②通り沿いの空地、空家等に屋台等を設置して、朝市、日曜日等の催しを定期的に行う③湧水公園を造成するとともに一角にトイレを設置する(以上私見)等々の多くの「夢」を画くことができたことは有意義でした。そして、なによりも「町起こし」の気持ちの高まりを、有志が分ち合うことが出来たことを嬉しく思います。さて、新屋表町通り活性化推進の取組みがいよいよはじまりました。私見ですが、表町通り―湧水―醸造業―桜公園―美短を一体化した催し物は不可能でしょうか。また、空家、空地を活用した起業の機会づくりも大切です。現に空家が薬局になったり介護の事業所になっている例があります。町は時代とともに変化しながら生きていく面も持っていると思います。さて、町は人々の生活の場であり、交流の場であり、憩いの場です。これをどう整合しながら町づくりを進めるのか。

新屋表町通り活性化推進事業の成功を願ってやみません。

野鳥のさえずる森づくりの植樹イベント実施

去る六月九日(土) 西部工業団地内緩衝緑地で、地元住民・工業団地内企業の社員等約二百五十名が参加し、緑地の一部約五千八百㎡に、佐竹秋田市長も駆けつけ一緒に、梅・ナツメ・ブルーベリー・クワなど果実をつける樹木を中心に約百本を植樹した。

実がなれば大森山動物園の動物の餌に活用することも考えておるそうです。

「野鳥のさえずる森づくり」事業は、秋田市の「地域愛形成事業」の中の一つで、既に工業団地内に、遊園地と一体となった公園が完成し、朝夕散歩する人の楽しみになっています。

事業を委託された西部工業団地の四十二社で構成されている「雄渾会」では、当地は野鳥が多く飛来する自然に恵まれた場所、さらに良好な環境を活かしながら工業団地を緑でいっぱいにするため、五十年計画でいろいろな野鳥が自由にさえずる森として計画的に整備していく予定です。



投稿から

集い・語らい・交流・

休憩の場所として親しまれている、帯状公園の小亭「あずまや」が、落書きで傷付き泣いています。空き缶等のゴミのポイ捨てもなかなか減りません。捨てられたゴミを丁寧に清掃してくださる方もあります。

一人一人の心がけが大事です。

(S・Y)



第一回新屋表町通り活性化推進委員会開催

藤田 強

新屋表町通りでは、これまで秋田市と大学コンソーシアムあきたの連携によって、学官連携による景観形成のパイロット事業が提言され、平成十八年度には、地元住民、美術工芸短大、市が連携して、景観に関するワークショップ等を実施し、「新屋表町通り景観まちづくりガイドライン」策定しました。この取り組みの中で、通りの重要な景観資源である「湧水」を活かした景観形成について、提案されました。

このような中、「愛宕下お地蔵湧水の里」の隣接地が売り出されたことを契機に、この地を公共の広場として、整備し、地域の歴史を後世に遺す拠点にと地元の強い意志が示され、新屋商店会・新屋街路灯組合が当該用地を購入し、



「仮称」新屋湧水広場」の今後の取り組みとして、町民から出されたアンケート（約八百通）を、美術工芸短大生が七月末までに集約し、第二回委員会で意見交換し、三回、四回の委員会で検討し、九月中にワークショップで最終原案を作成するスケジュールが提案され承認されました。

町民の皆さんには、場所については、場所について知らないという方もあると思います。通称「上の坂」の二百m手前にあり、敷地内に告知板（小屋）があり、すので通りかかった時に一度確認したら如何でしょうか。

まちで飲み・まちを語り・まちを創る

「屋台堀」による対話型まちづくりの実践

藤澤 浩

「藤田記念まちづくり企画支援事業」に新屋振興会が申請者となり、事業担当者は秋田公立美術工芸短期大学産業デザイン学科石垣充助教として応募した結果、全国六十一の申請に対し、四箇所の採用に該当いたしました。

「まちで飲む」

新屋住民と大学生等の円滑なコミュニケーションのために人々が共にまちで飲み、地域の産業である「酒造り」を再認識、再評価します。

「まちを語る」

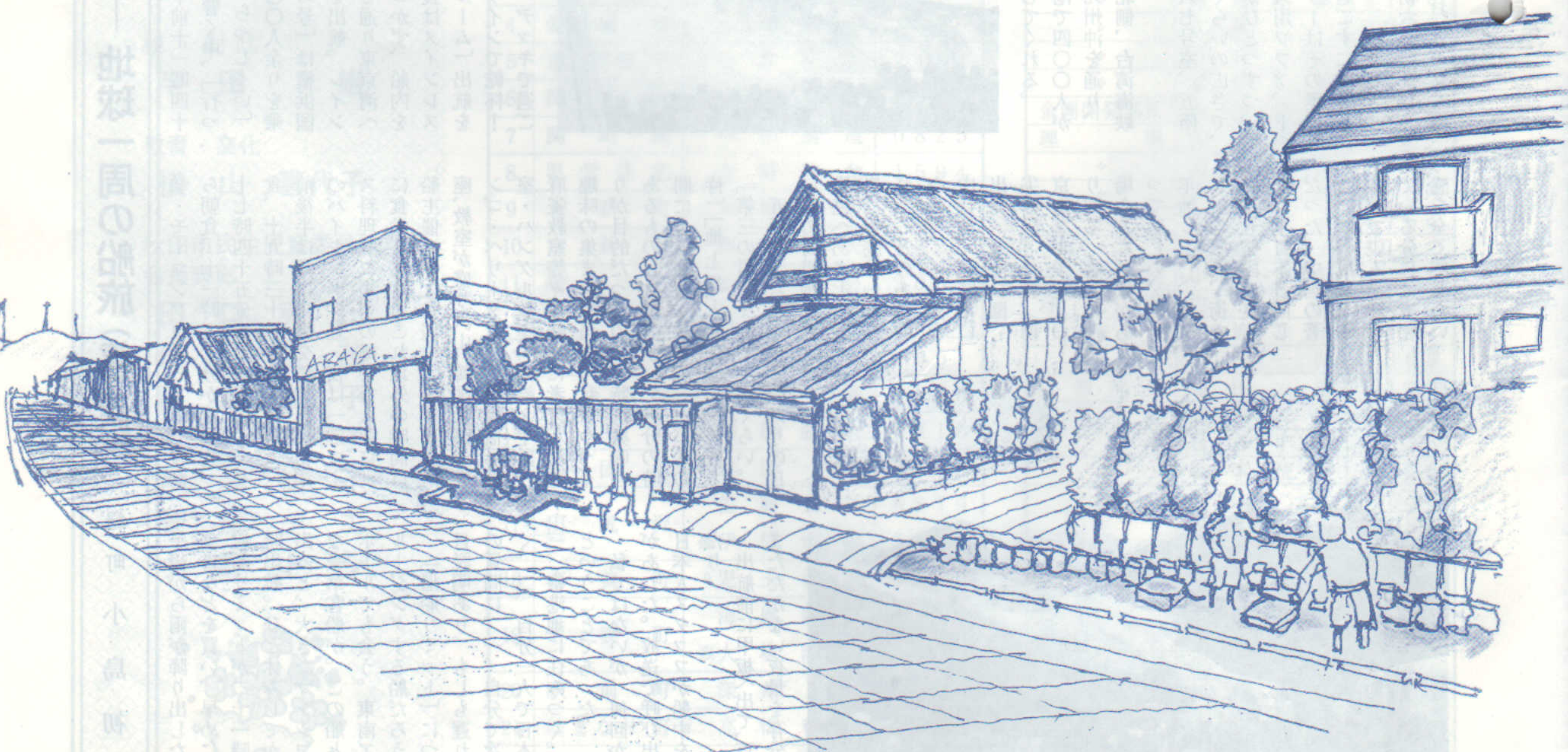
新屋住民や大学生等、幅広い世代が共に集う場を設け、まちで飲みながら「まちを語り」ます。

「まちを創る」

まちで飲みながらまちを語りあう、「まちのみワークショップ」を行います。空地に町並みを連続させる景観要素としての「堀」と、集いの場としての「屋台」が一体になった屋台堀を設置します。

場所は表町九一三八辻永宅森九商店隣の空き地を借用しました。

又、地域のシンボルとして親しまれ、通りからもよく見える「大森山」の頂上にある電波塔をライトアップし、まちづくりへの参加意識を更に高める試みに使います。



残そう『秋田市新屋郷土史』街並みと共に

大島正美

私が生れ育った新屋から旭川に移住したのは、昭和四十九年（一九七四）であった。長女は西中でバレー部に入っていた。（今でもママさんバレーをやっている）。

二年生の時東中に転校した。長男は日新小学校六年生で、修学旅行を終わってから旭川小学校へ転校した。

新屋に行く時はバスを利用することが多いが、秋田大橋を渡ると、小学校二年の時に雄物放水路の通水爆破（昭和十三年（一九三八）四月二十七日）を見た時のことが思い出される。日新小学校全校生徒が栗田神社近くの土手で見た。

今は引越してなくなった実家（表町）の前を通ると天神様のことが思い出される。四月二十五日だったと思うが、家では十日位前から天神様（菅原道真像―八橋から父が買ってきたと母に教えられた）と菅原道真が牛に乗って梅の花を持って掛軸が床の間に飾ってあった。当日遊山であった。

遊山は町内ごとの小運動会のようなもので高学年が中心になっていた。遊山の場所は町内ごとにくまっていた。前もって縄をはいたり走る場所を作ったりして準備した。町内からお金をもらい、賞品を用意し、表彰もした。弁当を持って行って家族で食べた。

日吉神社に参拝すると、鹿嶋祭を思い出す。私たちの頃は先生が教えてくれ

て学校で作ったが、私の子どもの頃は上表町の店から買って来たこともあった。

中表町町内会で会長県議会議員辻永剛一氏（故人）副会長渡辺孝雄氏、大島正美であった。役員会で相談し、中表町在住の子吉格郎先生（故人）に作り方、大島清蔵氏（故人）に正しい歌を町内の母さん、子どもたちに指導してもらったことがあった。

私の長男は千葉県八千代市に住んでいる。

そこへ遊びに行った時、近くの佐倉市にある国立博物館に連れて行ってもらった時に、新屋の鹿嶋船（鹿嶋人形）が、民俗部門の展示物として保存されていたのを見て感激した。

一緒に行った長男夫婦と孫二人に説明した。

海岸から松林を見ると、日新小学校高等科一年（昭和十九年）（一九四四）の頃に、石油がないために松根油掘りしたの思い出された。戦時中は新屋、浜田、下浜に塩をとるため釜が並んで、燃料は松を使ったために荒地になっていた。先祖が砂防林として植えた松が、現在はマツクイムシの被害にあっている。

「ふるさととは遠くにありて懐しい」というが、離れていると思ひ出すものである。

そういうこともあり、私が保管していた新屋村、町の原簿（議事



録、事務簿、報告など―このことについては『秋田市新屋郷土史』の九百十二頁を見て欲しい）を秋田市史の事業終了前に寄贈し、秋田市役所に移管した。整理されてマイクロフィルムで公開されることを希望している。

私の兄慎一が新屋町役場に勤務していたこともあり、原簿を史料として郷土史に残したいと思っていた。秋田文化出版の藤原智行部長、秋田文化出版の横山仁氏、秋田姓氏家系研究会の会員（古文書の解説、校正）の協力によって『秋田市新屋郷土史』が刊行できた。

リーフレットには、近代の新屋衆のあゆみ―親子で読もう『秋田市新屋郷土史』新しい郷土を語ろう！（八百部限定）とある。

新屋を出ている親せき、友人、知人にも教えて欲しいと思う。

紙質、装いともに良く、百年はもつといわれている。子孫に伝えるために一家に一冊以上は欲しいと思う。

新屋が平成二十一年（二〇〇九）四月に完成予定の西部地域市民サービスセンターを中心として、発展することを祈る。

尚、販売は秋田駅前に加賀谷書店・東京では新屋郷土会の高橋会長、また六月一日からは販売協力員（新屋在住）が協力してくれています。

夢

地球一周の船旅（第二話）

緑町 小島 初男

五月二十一日、午前十一時四十分、ドラの音が鳴り響く中、「行きます」「行つてらっしゃい」の大歓声の中、六〇〇人余りを乗せた我が「トパーズ号」は横浜国際客船ターミナルを出航。レインボーブリッジの下を通り東京湾へ興奮のあまり落ちつかず、船内を見て回る。初の夕食はメインレストラン「トパーズルーム」出航を祝い同室の〇氏とワインで乾杯！静岡沖あたりまで、デッキで過ご



す。飛び魚が歓迎してくれる。翌二十二日神戸港で四〇〇人が加わる。四国沖、九州沖を通り、種子島、屋久島の北側、台湾海峡を通り一路香港へ。

私の部屋は五〇六七号室、五階の四人部屋。八帖くらいの広さで、両端に二段ベットがひとつずつ、ロッカー、机、一人用ソファ、トイレ、洗面、シャワーはその奥に。ここで一〇二日間過ごすには少し狭いか。

船中の一日は、朝六時のラジオ体操から始まる。おはよう太極

拳・モーニングコーヒー、七時から朝食、十一時三十分から昼食、十七時四十五分から前半の人の夕食、十九時三十分から後半の人の前後半は月に一回交替。朝は和洋のバイキング、昼・夜は一応コース料理。コースの嫌いな人用に別に食堂もある。これ以外の時間は、船主・個人主催のさまざまな講座、教室が盛り沢山。韓国太鼓チャング・ベリーダンス・手旗信号教室・ハンゲル教室・油絵・手話・麻雀教室等々。普通に考えられる趣味の集まりは当然。私はゆっくりが目的だったので、特別興味のあつたもの以外は、すべて自分の時間に。映画はよく見た。「七人の侍」「地上最大の作戦」「十戒」「第三の男」など四十本くらい。

午後から雨が降り出したので、絵葉書などを買い、早めに船に戻る。帰船リミットが二十一時、二十二時出航。ひと休みしてから甲板に出ると、大きなマンシヨンのような豪華客船が。この船とはシンガポールでも会った。東南アジアをクルージングする船だろう。

「帰船リミット」について、先日説明あり。もしも遅れた時にはの質問に、一、自分で次の港へ行く。二、自分一人で日本へ帰る。三、寄港地に住みつく。の選択をということであった。

私ではないが、何回かトラブルがあつた。放送で呼び出したり、日本人スタッフが船中を探し回ったり。



森川内科・呼吸器科クリニック

秋田市新屋表町 3 番18号
電話 018-888-8363



木村内科クリニック

木村 衛

秋田市新屋田尻沢東町10-5号 新屋高校バス停前
TEL 018-828-1112 FAX 828-1114

内科・外科・胃腸科

一戸医院

月曜から金曜 午前9:00~午後6:30
土曜 午前9:00~正午まで

☎ 828-2221

秋田市新屋大川町 9 番 7 号
美術工芸短大入口・バス停前

稲葉 整形外科医院

稲葉 勉

秋田市新屋扇町6-33

☎ 828-2111

もとまち歯科医院

西村 圭史

新屋元町5-38

☎ 888-8814

高橋整体治療院

高橋 紘章

新屋扇町10-16

TEL 828-9848

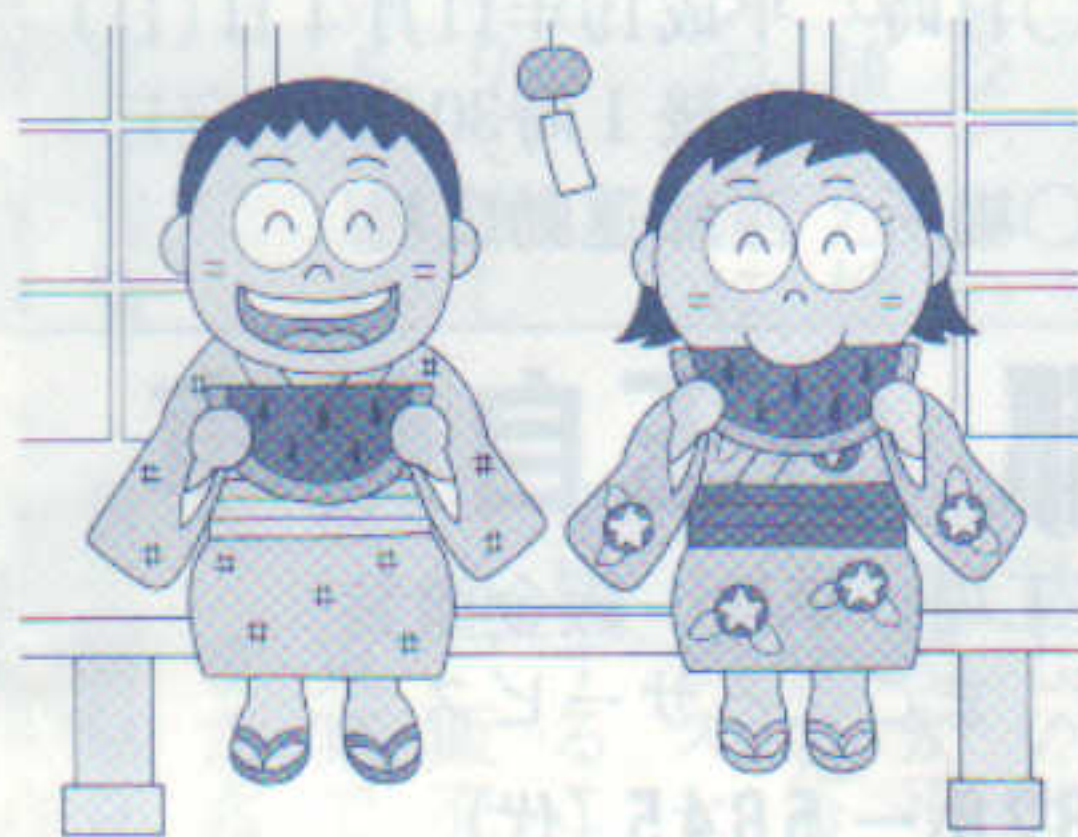
さわやか薬局新屋店

秋田市新屋表町 4 - 1

☎ (888) 8371・Fax (888) 8372

吉田眼科 吉田コンタクトレンズ

新屋日吉町7-41 ☎ 828-6080



三浦歯科医院

三浦 捷也

秋田市新屋元町 22 の 34

☎ 828-2109

くまがい日吉歯科医院

小児歯科・一般歯科

小児歯科学会認定専門医

院長 熊谷 仁志

秋田市新屋町字関町後205-1(県住通り)

TEL 828-5582

堀部歯科医院

堀部 真知子

秋田市新屋表町11番3号

☎ 828-4323

森永牛乳新屋販売店

大山 淳

新屋高美町 6 - 8 ☎828-5503
FAX828-5226

“タクシーの御用命は” 新屋 タクシー

配車専用 829-4100

ジャンボタクシーもどうぞ

ワタキューセイモア 株式会社

病院用等寝具・白衣リース・洗濯業務
秋田市新屋島木町 1 番69号 ☎018-828-4851

株式会社 フォーエバー

代表取締役社長 穂積 緑

取締役専務 穂積 志

〒010-1632 秋田市新屋大川町18-7
TEL 018(828)1850代

0才から6才までの子育てを応援します。

秋田市新屋表町 8 - 19
及び 8 - 5

乳幼児保育 対象児 0才~3才

グリーンローズ保育園

☎828-3049

朝7時から夕方7時
健康に配慮した手厚い保育

子育てやことば・きこえの相談

「ことば」の教室

オリブ園

☎828-7750 828-0140

0才代からの専門的育児相談
ことばの発達・きこえの支援

共に育つ 対象児 3才~5才

ルーテル愛児幼稚園

☎828-3038

キリストの慈しみと個性を育てる教育
夕方7時までの長時間保育
夏休み・冬休みの預り保育

おもちゃの図書館

おもちゃライブラリー

☎828-0140

毎月第一・第三水曜日 保育園二階
無料 きがるにのびてください

みつ 満3歳になったら 新屋幼稚園へ

家庭的な雰囲気

お子様をお預かりします。

新屋扇町 4-27

TEL 828-2119



デイサービス

ア・ラ・ヤ・デ・デイ!!

☎018-828-8170

〈国宅介護支援事業所〉TEL 018-888-8177

FAX 018-888-8166

指定通所介護事業所・指定居宅介護支援事業所
事業所番号 0570110163

まめであら ハウス!!

〒010-1637 秋田市新屋扇町7-30 FAX 018-888-8166

☎018-828-8189

事業所番号 0590100129

ホームページアドレス/http://to-be8.com/
E-mail/araya@to-be8.com



慶弔花籠・会場装飾・いけ花素材
Flower Communication

石井生花屋

〒010-1631 秋田市新屋元町22-44

TEL 018-828-4428

FAX 018-828-4267

石井生花店インターネットショッピング
URL: http://www.ishiihanaya-akita.jp
E-mail: shop@ishiihanaya-akita.jp

一味豊かな和洋菓子の店

高島松月堂

秋田市新屋表町9-49

明かるいまちなみを
演出する

新屋街路灯組合

TEL 828-6535

FAX 828-6043

水と緑に囲まれた
芸術キャンパスのある街

新屋商店会

TEL 828-6535

FAX 828-6043

“信用と技術を売店”一級寝具技能士
打直し・仕立・寝具一式
タオル花輪・贈答品ギフト各種

阿部ふとん店

☎ 828-1204

電話下さればすぐ伺います。
秋田市新屋元町22-43(秋田銀行新屋支店前)

有限会社 梅若芸能企画

代表取締役 浅野保二(梅若)

〒010-1637 秋田市新屋扇町85-22

TEL (018)828-4638
FAX (018)828-4638

いい暮らし届けたい



ナイス

新屋店

☎ 828-6911

傷んだ髪にミラクルパーマ かしま美容室 営業時間 9:00-6:00 TEL 828-3613	ブライダルメイク 一般着付 婚礼 フキ美容室 新屋元町19-13 TEL 828-3623 FAX	ミセスの味方 洋服 コマツ 秋田市新屋元町 6-37 TEL 828-3228	資生堂チェーンストア 森弥化粧品店 新屋扇町10-1 駅前通り ☎ 828-3128
みそ・しょうゆ・手作りつゆ 醸造販売元 森九商店 シキシマ 森 川 亮 一 秋田市新屋表町 9-40 ☎018(828)2121	フキ美容室 新屋元町19-13 TEL 828-3623 FAX	秋の装いは一足先に ブティック ティファニー 店主 小野 トシ子 新屋扇町 92-74	ほてい屋 新屋高校通り(秋田市浜田字町端75-2 ☎010-1654) TEL/FAX 018-828-2721 《開店時間》 11:00~15:00 17:00~21:00 定休日/毎週月曜日(祭日の場合は翌日) 店主 伊藤 信悦
miura おしゃれサロン みうら 秋田市新屋栗田町16 ☎(018)828-2156 駐車場あります	(有) 加藤仕出し店 代表取締役 加藤 隆治 秋田市新屋元町14の1 ☎ 828-5077	御料理・折詰・仕出し 工藤旅館 新屋扇町 3-22 ☎ 828-4706	江戸前 寿し広 新屋南団地 ☎828-4665
新鮮一番(鮮魚・野菜・果物) 大塚商店 TEL (828) 4307 FAX (828) 8234	美容と健康にお米を 水品米 大島米穀店 大川町 ☎ 828-3305	日替弁当・大小宴会(30名様迄)承ります。 楽亭 すずらん 新屋元町桜並木通り ☎828-3233	高長寿司 電話(828)2522
新屋名水本格スープ・手作り餃子の店 まんしゅう屋 秋田市新屋扇町 7-48 TEL (018) 828-8838	19.10.1から新会社 変わりません——地域貢献 新屋駅前郵便局 局長 石黒 俊彦 〒010-1637 でんわ 828-4200 FAX 828-0958	中古車をお探しの方 日本全国から、あなたにピッタリの 一台を探します!! 整備もおまかせください!! 広告作成をお考えの方 あなたのイメージとおりのものを スグに作ります 自動車販売/買取/車検整備/秋田陸運支局認証工場 Big Dream 有限会社 夢大 〒010-0817 秋田市泉菅野1丁目20-30 TEL 018-896-6177 FAX 896-6178 自動車部門:TEL 018-883-5944 アド部門:TEL 018-896-4900	南波家の手造り もりたんぼ 比内地鶏専門店 秋田市新屋元町14番26号 TEL・FAX (018) 828-4025
年金の お受け取りは 新屋郵便局で 暮らしと情報の明日をひらく 日本郵政公社 JAPAN POST あなたの街の新屋郵便局 〒010-1631 秋田市新屋元町22番38号 TEL018(828)4324・(828)4300	新屋の酒 秋田晴 ☎ 828-1311	酒は 黄金井 黄金井酒造株式会社 新屋表町 2-47 TEL 828-4333	年4回。4つの味わいで 季節の移ろいを楽しむお酒。 新政の歴史と、 七代卯兵衛「技の結晶」。 大吟醸原酒 佐藤卯兵衛
大福の渡勇 新屋元町15-5 ☎ 828-4103	創業1960年 秋田大橋のもと 地元のガソリンスタンド ALUZ アロズマーク 新屋石油 合資会社 秋田市新屋大川町10の29 TEL (018) 828-4125	出光興産新屋給油所 新屋アポロ 大川町10-25 TEL 828-4224	思い出にあふれる その時のために…! 日吉写真館 秋田市新屋扇町 TEL 828-3739
地域共栄 秋田銀行 新屋支店	第一〇九号が完成し皆様に届けることが出来ました。 今回は、鹿嶋まつりについて、特集しました。新屋の伝統行事であるこの祭りを成功させるため、町内の有志が一丸となって人形づくり、船づくりががんばります。しかし少子化、若い人達の無関心等によって、町内によって大きな開きがあります。大切な伝統行事であるこの鹿嶋祭りを、私達は守って子供達に伝えていくことが義務だと思えます。是非これから鹿嶋祭りに関心を持って貰えれば幸いです。 皆様の投稿をお待ちしております。 秋田市新屋支所 新屋振興会 広報部 (TEL 018-888-888-8080)	メガネのシモマ 秋田市新屋表町12-47 ☎828-4622	西部公民館祭り 10月12・13・14日
		贈答品・記念品のことなら何でもお気軽に! シャディサラダ館新屋店 〒010-1638 秋田市新屋表町12-50 電話 828-1691 fax 828-7983 お電話一本でギフトカタログ無料送呈致します	有限会社 秋田魁新報新屋専売所 秋田市新屋元町13の29 電話(828)4102 フリーダイヤル0120-60-4102

 今秋西部工業団地移転
新屋工業株式会社
秋田市新屋前野町1-21
電話(代) 828-5874

電気設備工事・設計施工
有限会社 **打矢電気工業**
代表取締役 打矢 道雄
秋田市新屋表町11-23
TEL 828-2923 FAX 828-2920

庭づくりにお手伝い致します。
庭園・土木・設計・施工・管理
小野造園土木
新屋扇町92-74
☎ 828-4265 代表 小野 由春

電気設備工事・設計施工
 **株式会社加島電気工事**
代表取締役 加島 和子
秋田市新屋元町5-4 TEL 018(828)3118(代表)
FAX 018(828)1539

第40回新屋町民大運動会
☆日時 平成19年9月9日(日)
午前9時開会式
(雨天等の場合9月23日(日)に順延)
☆場所 秋田西中学校グラウンド

平成19年度新屋敬老会
☆日時 平成19年9月17日(月)
午前11時開催
☆場所 西部体育館


三菱マテリアル株式会社
秋田製錬所 西脇 道雄 長
秋田市茨島三丁目1番18号

安心サポート
新屋不動産
〒010-1637 秋田市新屋扇町7-41
オノプロックス内
TEL 018-888-8844
FAX 018-888-8845

くだもの・やさい・食料品
新鮮食品を食卓に
大門商店
秋田市新屋表町11-36 ☎(828)3106

電気設備工事・設計施工
猿田電機工業所
代表取締役 小野 一夫
秋田市新屋元町11番11号
TEL 828-4037 FAX 828-1855

 地域の皆様と共に…
ISO9001・14001 認証取得
日本大昭和板紙東北(株)
代表取締役社長 鈴 森 二 朗
〒010-1601 秋田市向浜二丁目1番1号

快適生活製造業

 **株式会社オノプロックス**
TEL 828-2108 FAX 018(828)2177

畳修理一枚でも伺います
鈴木畳店
畳一級技能士 鈴木 仁
☎ 828-4405

カーテン・ジュウタン・クロス
鈴木内装
日吉町7-17 TEL 828-5144
カーテン50%OFF 鈴木 富夫

大島正美 著
「秋田市新屋郷土史」

販売・連絡先 鈴木
TEL 828-8686

明日の空気を変えていく

 YUTAKA
土木工事一式・環境整備事業
豊興産株式会社
代表取締役 石 黒 望
〒010-1637 秋田市新屋扇町12番49号
☎ 828-4611(代) FAX 828-3373

国際規格ISO9001:2000取得


創業 昭和16年
株式会社 **ハセベ**
(旧 長谷部建設株式会社)
秋田市新屋扇町1番31号
TEL 018-828-6000

信頼宣言 印刷・新聞
企画提案
～伝えたいこと、残したいもの～

 JAグループ
株式会社 **JAプリントあきた**
(018)-888-8000
秋田市新屋扇町1-41
(西部工業団地)

暮らしの応援団！地元の専門店が一番

《肉の南波・文具は渡金
写真はカドヤ・クリーニングの栗田》

◎日新小 ↑県住

(828) 3121 ☆渡金商店	(828) 3113 ☆カドヤ写真館	◎栗田神社
西部公民館	☆南波肉店 (828) 4025	
◎	☆栗田クリーニング (828) 3636	

日吉神社責任役員・監事・氏子総代のご紹介
(敬称略)

◎責任役員	黒丸 幹一 夫	小齊 藤 初 政 男 雄	山 鈴 本 木 義 恭 臣 治
◎監事	赤坂 光 一 夫	加 藤 勝 夫	
◎氏子総代	富田 玉 田 秋 勇 大 直 正 誠 作 連 男 章 吉 和 政 之 智 蔵		

各町内会長の推薦を受け、役員会の承認により就任した今期の氏子総代の皆さん
(任期 平成十九年七月～二十二年六月)

上表町 相原 誠 作	下表町 大 塚 智 蔵	緑川町 工 藤 正 智	北新町 高 橋 直 和	関内町 佐 藤 大 吉	南地町 藤 田 勇 章	高美町 富 田 秋 連	十條町 富 田 秋 連
中表町 斎 藤 重 孝	笹川町 武 藤 宏 夫	大新町 小 野 昭 治	愛宕町 高 橋 良 一	駅前町 鈴 木 高 橋	田尻町 岡 田 春 美	沖田町 岡 田 春 美	日の出町 藤 田 徳 司

日吉神社

秋田市新屋日吉町10番67号
TEL 018-828-3033